

中央大学杉並高等学校 学校通信



杉燦 さんさん



中央大学杉並高等学校

総務部発行

2024年度第4号(通算115号)

<https://www.chusugi.jp>

〒167-0035 杉並区今川2-7-1

☎03-3390-3175

無断転載禁止・不許複製

# 60期生 卒業おめでとう!

2025年3月9日(日)、第60回卒業式が本校第一体育館にて行われました。10時開式、卒業生・教職員・来賓・保護者の方々が参列。60期生男子142名、女子173名、計315名の名が呼ばれ、一人ずつ壇上で卒業証書を受け取りました。中杉卒業生は計19,119名となりました。

## 式辞

### 贈る言葉として

中央大学杉並高等学校長 高橋 宏明

60期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、心よりお祝い申し上げます。さて、私から皆さんにお伝えしたいことは、以下の三つです。

一つ目は、「自分自身を大切に生きて欲しい」ということです。アメリカ大統領とウクライナ大統領がテレビカメラの前で突然「言い争い」をする時代です。何が起きても不思議ではありませんし、数年後の世界情勢など予想もできません。このような時代だからこそ、先ず自分自身を大切に生きて欲しいのです。これから先の長い人生では、成功することも失敗することもあるでしょうが、上手くいったときは自分を褒め、失敗したときは自分を元気づけ、自分の良いところも悪いところもそのまま受け入れて、「かけがえのない自分」を大切に生きて欲しい、と願っています。

二つ目は、「人生を楽しむ」ということです。これまで皆さんには、緑苑祭や体育祭、そして音楽祭で、その時その時に集中し、楽しんでください、と伝えてきました。自分なりの楽しみ方でもいいし、友人との関わり方で楽しむのでもいいから、とにかく楽しみましょう、と言ってきました。かの孔子も言っています。「何事も、楽しんでやっている人間が一番強い」と。私は最近よく思うのです、「他人にどう見られようが、どのように思われようが、自分の人生をどうやって元気に楽しく生きるか、これが一番大切なのだ」と。皆さんには、自分の

人生を楽しんで欲しい、と思います。

そして、三つ目は、「挑戦」です。終末期医療に携わる医師が言っていました。人が、人生最後の時に述べるのは、挑戦すべきときに挑戦しなかったという「後悔の言葉」だそうです。人生で一番悔いが残るのは、「挑戦しなかったこと」なのです。私は皆さんには、悔いを残さないように生きて欲しい、挑戦する人生を歩んで欲しい、と思います。中杉の三年間で、皆さんは仲間と共に考え、共に学ぶ姿勢を身に付け、「人間力」と「行動力」を養いました。こうした能力があれば、どのような世界でも、自信をもって挑戦していくことができるでしょう。「自分自身を大切にし、人生を楽しみながら、自信をもって挑戦する」。皆さんが自分で納得のいく人生を送り、幸せになることを祈念して、私からの式辞とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございます。



## 祝辞

中央大学国際情報学部長 平野 晋

中央大学杉並高等学校卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、皆さんを支えてこられた、ご家族や教職員やご関係者の皆さまにも、お祝い申し上げます。

卒業生の皆さんの多くは、中央大学の各学部に進学することと思いますが、その他の進路をとる卒業生も居ることでしょう。何れの進路をとるにしても、皆さんが中核で修得した「幅広い教養」と、「人間性・社会性」と、「真の学力を養い、正義と社会性を育み、人間として豊かな生き方を求める」力は、今後の皆さんの人生で必ず役立つことと確信しております。

そのような「人間力」こそが、AI（人工知能）の蔓延する今後の社会に於いては非常に重要になるという話を、本日は、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手が「50・50」を達成した試合を例に挙げて、話してみたいと思います。

「50・50」というのは、ワン・シーズン中に、ホームランを50本以上打つだけではなく、加えて盗塁も50個以上を同時に達成する偉業を意味する言葉です。その偉業は、これまでメジャー・リーガーの誰一人として達成したことがない中で、大谷選手を迎えたシーズン終盤の「対マイアミ・マーリンズ戦」。既に記録が51盗塁・49本塁打に達した大谷選手の第5打席。カウントは2ボール・1ストライク。マイケル・パウマン投手が投げた次の球は、アウト・コース低めのナックル・カーブ。これを大谷選手は逆方向のレフト・スタンドに運んで、史上初の「50・50」を達成しました。

ホーム・ベースを踏んでベンチに戻った大谷選手。観客は感動の渦の中でスタンディング・オベーションのまま、この歴史的快挙を祝福する拍手が鳴り止みません。しかし

メジャー・リーグのルールでは、どのように感動的な場面であっても、ピッチャーは次の打者に対して15秒以内に投球しないと、ペナルティとして「ボール判定」されることになっていて、これを「ピッチ・クロック」と云います。ところが50本塁打を打たれたパウマン投手は、ペナルティ覚悟で次の打者への投球を控えました。後日、パウマン投手曰く、歴史的快挙を目の当たりにした観客達の感動を大切にしたいという気持ちから投球を控えた、とのこと。更には審判も、ピッチ・クロック違反を宣告しませんでした。そして観客のカーテン・コールに応じた大谷選手は、ベンチから球場に出て来て、ヘルメットを脱いで観客達に挨拶。続いてパウマン投手と審判の粋な計らいに対しても、大谷選手は手を挙げて謝意を示したのです。

このエピソードは通常、大谷選手の素晴らしい人間性を示す逸話として語られます。しかし私はここで、パウマン投手と審判の「人間力」にも着目しています。このような歴史的快挙の場面でも、球場に設置されている「ピッチ・クロック」は無情に時を刻みます。しかしヒトは機械と違って、人々の感動や、通常とは異なるその場の重要性等を汲み取って、その場面にふさわしい判断や行動をとることが出来るのです。

中杉に於いて「人間力」を育んだ皆さんも、これからの人生に於いて、その「人間力」を存分に活かして下さい。AIが蔓延する今後の社会に於いては、ともすると冷たく機械的な「デイストピア」に陥る危険性も指摘されている中であって、皆さんは「人間力」を活用して、社会に貢献できる人材に育つてくれることを願っています。

以上、皆さんのご卒業を祝して、お祝いの言葉に代えさせていただきます。本日はご卒業、誠に改めてどう御座います！



## 在校生代表挨拶

二年 K・R

柔らかな春の風が吹き抜け、希望に満ちたこの佳き日に卒業される六十期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

卒業を迎えた今、先輩方はどのような思いでしょうか。新たな一歩を踏み出す期待と喜び、そしてこの中杉を離れる寂しさや名残惜しさも感じていることと思います。私たち在校生も、先輩方と共に過ごし、学んだ日々が走馬灯のように蘇ってきます。

先輩方と過ごして学んだことは、全員で「楽しむ」ことの重要性です。

緑苑祭での先輩方の出し物は、細部まで作り込まれた、素晴らしい世界観でした。夏休みの間に何度も集まり、楽しみながらさまざまなアイデアを出し合って準備を進める様子が想像できました。全員で「楽しむ」ことを忘れなかったからこそ、あの素晴らしい緑苑祭が作られたのだろうと思います。まるで遊園地に来たかのようなまぶしい笑顔を私たちはいつまでも忘れることはないでしょう。

体育祭では、競技中にも聞こえるほどの大きな声援を送ってくれました。その応援に背中を押され、私たちも絶対に勝つんだと意気込んで競技に打ち込むことができました。競技中だけではなく、私たちが競技を終え、観覧席に戻るときには、ハイタッチをしてくれたり、「よかったよ」と褒めてくださったりしました。先輩方の熱意があったからこそ、学年の枠を超えて団結し、諦めそうになったときでも最後まで頑張ることができました。自分の色が勝ったときは全力で喜び、勝敗にかかわらずお互いを笑顔で称え合う、そんな最後まで「楽しすぎる」先輩方は私たちの憧

れです。きっと最初は赤い学年カラーを見るたびに先輩方を思い出して寂しくなることもあるでしょう。でもこれから私達が最上級生としての誇りを持ち先輩からのバトンをしつかりと受けつぎ後輩の良い見本となりこの中杉を引っ張っていきます。

最後になりますが、今まで私達を導き可愛がってくださり本当にありがとうございます。先輩方のご健康とご活躍を祈念して、在校生代表の送辞とさせていただきます。

## 卒業生代表挨拶

三年

S・K



本日は、私達六〇期生のためにこのような盛大な卒業式を開催していただき、誠にありがとうございます。高橋宏明校長先生をはじめ、ご来賓の皆様、日頃よりご指導くださった先生方、そして私たちを支えてくださった保護者の皆様に、卒業生を代表して心より御礼申し上げます。

私達は今日、この中央大学杉並高等学校を卒業し、新たな道へと歩み始めます。いざこの日を迎えると、高校生活があつたという間だったことを実感し、誇らしさとともに、名残惜しさを感じます。

三年前、私はこの中杉に入学しました。これまでとは異なる新たな環境に対し、不安と期待が入り混じった気持ちでいたことを思い出します。当時は新型コロナウイルスの影響で、マスク着用や昼食時のシールド使用など、多くの制約がありました。それでも、オリエンテーション合宿や球技大会などの学校行事を工夫しながら開催し、次第に生徒同士の仲を深めていきました。ほかに中杉では、体育祭、緑苑祭、音楽祭といった行事を通じて、多くの個性の集まりであるクラスが互いに協力し合い一つの目標に向かって進みました。

卒業を迎えた今年度、私の所属する三年四組は、行事のたびに意見がぶつかることができました。しかし、そのたびに皆で

話し合い問題を解決しようとしてきました。先日行われた最後の学校行事である音楽祭では、私達がステージで歌っている間、ひとり会場に背を向けた指揮者は、感極まるどころがあつたのでしょうか、ずっと泣いていました。私はきっとあの場面を忘れないと思います。

振り返れば、一年次のフィールドワークや二年次の研修旅行、三年次の卒業論文や理数探究といった、教育課程の更新に伴う、六〇期生からの新たな学びも経験しました。研修旅行ではそれぞれが課題を持ってマレーシア、韓国、奄美大島、沖縄、東北を訪問しました。三年次の卒業論文や理数探究では、一・二年次の探究活動を活かし、それぞれが個性あふれる研究を完成させました。これらの経験は、今後の大学生活においても大きな財産となるでしょう。

三年生の三学期、国語の授業で紹介された、ある大学の卒業生代表挨拶には、次のような一節がありました。

「卒業生総代答辞の多くが、ありきたりな言葉の羅列に過ぎない。(中略) 皆が皆、同じ経験をして、同じように感じないならば、わざわざ言葉で表現する必要はない。見事な定型文と美辞麗句の裏側にあるのは完全な思考停止だ。(中略) 自分が努力してきたと言えるならば、卒業生が謝辞を述べるべきは自分自身である。感謝を述べるべき皆さまなんてどこにもいない。」

この方はきっと、前例を踏襲するだけでおさなりに済ませられていくことのひとつひとつに、憤りを覚えていたのだと思います。確かに、卒業の場で感謝を述べることは定型的かもしれませんが、私には「感謝を伝えること」が何よりも大切なことと考えます。

去る二月十日、重枝一弘先生が突然、ご逝去されました。重枝先生には二年次の世界史探究の授業でお世話になりました。丁寧で分かりやすい授業と実体験に基づいたお話をしてくださり、楽しく授業を受けることができました。最後に

お会いしたのは今年一月の朝のホームルーム。その際、「一年生のフィールドワークについていけなかった」と冗談を交えて話してくれたことを覚えています。重枝先生には多くのことを教わりましたが、直接感謝の言葉を伝える機会を持ってなかったことが悔やまれます。だからこそ、今この場で「ありがとうございます」を伝えることが重要だと改めて感じます。

この三年間楽しかったことと同じくらいあったこともありました。動きが複雑な中杉体操、定期的に行ってくる試験、いくらやっても全く進まない卒業論文、本当に完成するのだろうかと不安を抱えながら、朝も昼も放課後も準備・練習をした行事など、多くの困難をなんとか乗り越えてきました。ですから、この先どんな困難があっても、中杉での経験を思い出せばきっと克服できると信じています。私たちには先生方が工夫してくださった授業や課題、探究活動を通して得た、豊かにみえる知識・思考力があります。

私たちはここに、卒業の日を迎えました。それ自体が大きな誇りです。同じ大学に進む友人が多いなか、今日が最後の別れとなる人もいるでしょう。この機会に、周りの人への感謝の気持ちをしっかりと伝え、自信を持って新たな道へと進んでいきたいと思えます。

私たちが三年間ご指導くださった先生方、快適な高校生活を手助けくださった事務・事務員の皆様、いつもそばで支えてくれた家族、たくさん思い出してくれた友達、そして重枝先生に、改めて心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

中央大学杉並高等学校のますますのご発展と、本日も参列の皆様のご健勝とご活躍を心から願い、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。



THANK YOU

## 卒業した60期生よりテーブルセット一式をご寄贈いただきました

60期生の皆さんより、卒業記念品として第一体育館前のテーブルセットをご寄贈いただきました。

今まで長椅子しかなくて、ただ座るだけだった空間が、新しいテーブルセットのおかげで、生徒の憩いの場に生まれ変わりました。これからはここでお昼ご飯を食べたり、ちょっとした打ち合わせや相談をしたりなど、いろいろなことに活用できそうです。このテーブルセットを使うたびに、卒業した皆さんのことを思い出すことになるでしょう。60期の皆さん、ありがとうございました！



## 2年生・5コースに分かれての研修旅行、無事終了！

1月8日(水)～11日(土)の4日間(※マレーシアは12日(日)帰国)、2年生は沖縄・奄美・東北・韓国・マレーシアの5コースに分かれた研修旅行を実施しました。各々が立てた問いの答えを探る探究学習の一環としての研修旅行。まさに「行動する知性」を実感するプログラムとなりました。

### 沖縄

# 民泊 # 古宇利島  
# 平和学習 # 意見交換会

ひめゆり平和祈念資料館やアンディラガマを訪れ、沖縄戦の悲惨さを改めて知りました。

古宇利島での民泊は、三線を弾かせてもらったり、海岸に連れていってもらったりなど忘れられない経験となりました。



### 東北

# 東日本大震災伝承館  
# 語り部ガイド # 東北大学

大槌の街で震災遺構を目にし、被災された語り部の

方々の話を聞き、本やネットで調べただけではわからない事実に圧倒されました。実際に現地に行くことの大切さを実感した研修旅行でした。



### 奄美

# マングローブカヌー体験  
# 夢おりの郷 # インタビュー

奄美の方々との意見交換会がとても有意義でした。事前に考えていたプランが見当違いであるなど、現地の人との話し合いの中で気付かされました。



# 非武装地帯の見学  
# 高校交流 # B&S

### 韓国

世宗高校・ボラム高校との交流会が一番印象に残りました。韓国の高校生と事前に打ち合わせをして交流会を計画し、当日は英語や韓国語を交えながら会話し、歌やダンスで会場中が一体になり、とても盛り上がりました。



### マレーシア

# カンボン(農村)ピジット  
# ハラル産業開発公社見学

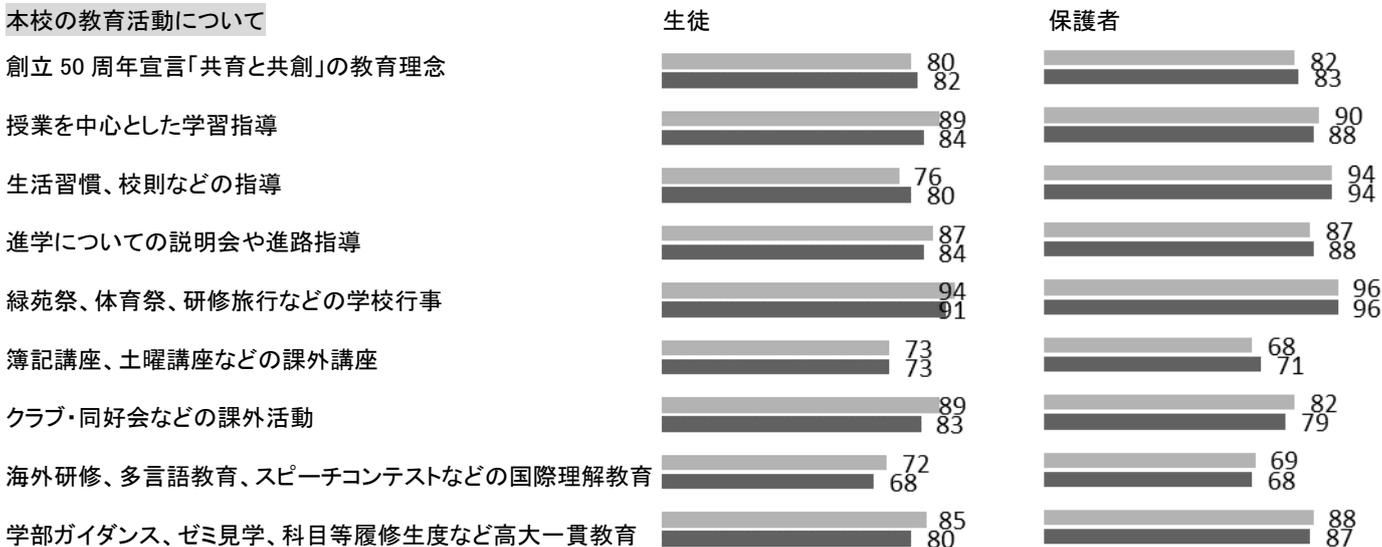
マレーシアの大学生と一緒に街を歩くB&Sが一番楽しかったです。中華、イスラム、ピンズーの影響が街のいたるところに見受けられ、マレーシアの多文化共生を肌で実感できたことが印象に残りました。



## 学校評価 アンケート結果報告

2024年11月に実施した「学校評価」のアンケート結果がまとまりました。回答数は生徒326名、保護者844名でした。ご協力ありがとうございました。選択肢(満足できる・やや満足できる・あまり満足できない・満足できない・わからない)のうち、「満足できる」「やや満足できる」という回答の割合を「満足度」として前回(2023年度)の結果と並べて示しました。■が今回、■が前回の満足度です。今回の回答を見ると多くの項目において80%前後あるいはそれ以上の満足度が示されており、今年度も、本校の教育活動に一定の評価を得られていると考えられます。自由記述でも多くのご意見をいただきました。今後とも頂いたご意見を参考に計画を立てて参りたいと存じます。

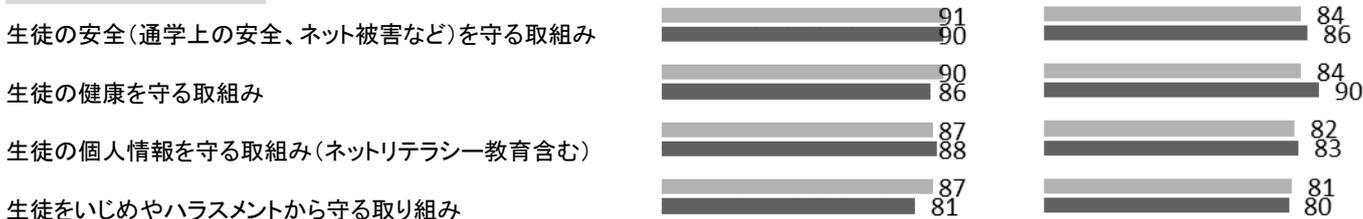
### 本校の教育活動について



### 本校の教育環境について



### 本校の教育管理について



### 本校の教職員について



### 高校入学後の意識の変化について



### 総合



# 音楽祭

2月1日、中央大学のクレセントホールで行われた音楽祭。今年度もレベルの高いクラス合唱が披露されました。選択音楽クラス・合唱同好会・音楽部・吹奏楽部も素晴らしい成果を発表し、会場を盛り上げてくれました。ここでは井上美都先生のコメントを中心として、各審査員の方の講評をまとめました。

## 1-1【Chessboard】

・男声のボリュームがあるので、発声をもう一工夫できると良いです。表現力は Good!! ・明るい声が◎。もう少し柔らかさが加わると、全体的に表現の幅が広がると思います。・発声がとても良かったです！付点音符や3連符などのリズムがもう少し安定していると良かったです。

## 1-2【空は今】

・この合唱曲はバランスの取りやすい構成になっているので、曲に助けられていると感じました。他の曲にもチャレンジしてみてください！・声質がとても明るく、曲調によく合っていました。アルトのハモリがしっかり聴こえました。・言葉を大切に歌っているなど感じました。男声の声質がもう少し柔らかいと、ハモリやすくなると思います。

## 1-3【僕のこと】

・深みのある響きが心の奥に届きました。ソプラノの高音、もっとお腹を使いましょう！・pの時、音程・発音が少し不安定になってしまって残念。強弱はしっかり表現されていて◎。混声四部の難しい譜面によく挑戦しました！・クラス内でしっかり音楽が共有されているのを感じました。難しさを感じさせない堂々とした歌いぶりでした。

## 1-4【正解】

・全体的にとっても良く整った演奏でした。発声・バランス◎。和音のテイストがバツと変わった時に工夫があると良かったです。・三声でハモるところはバランスが良かったです。パートソロに近い部分はずっと自信を持って！・後半に行くにつれ緊張が解けたのか、のびのびとした演奏になっていました。

## 1-5【YELL】

・ソプラノの発声、お腹が使えていて良いです！もちろんアルトと男声も素晴らしい！表現力強く Good。・曲に合った声色、音色を意識して歌えていました。ソプラノ、アルトがちゃんと聴こえるのが◎。高音の時、少し力を抜くと良いと思います。・発声が良いので、ユニゾン部分がとてもきれいに聴こえました。全体的に強弱の差がもう少しあっても良かったと思います。

## 1-6【空も飛べるはず】

・男声も女声もパワフルに胸に刺さる演奏でした。楽しんで歌っているのが伝わってきました。一体感 Good！・積極的に表現しようとしていて素晴らしかったです。訴えかける力も十分！美術にも生かしてください。・ソプラノの安定感が◎！全体的に、響く声をより意識すると更に良くなりますよ。

## 1-7【水平線】

・よくまとまった深い音楽表現ができていて良かったです。ヴォカリーズの表現が波のようで素敵でした！・3パートとも、力まずに透明感のある声で歌えていました。更に強弱表現の幅が広がると良いですね。・ソプラノ美しい！各パートとも主旋律の部分の歌い方が良かったです。特に男声◎！

## 1-8【キセキ】

・出だし、男声が少し弱いかないかと思いましたが、女声とのバランスは良く、聴きやすいサウンドに仕上がっていました。ピアノ、しっかり弾けていて良かったです！・歌詞を細かいリズムに乗せるため、言葉一つ一つをはっきり歌いましょう。ハモリが大変きれいでした！・もう少し声量があると、更に良かったと思います。女声の澄んだ声が印象に残りました。

## 2-1【奏】

・女声のハモリがすてきでした！どのパートも音の上がり下がりが多く、音程を取るのが難しかったと思いますが丁寧に歌っていました。男声の音程も Good! ・女声の声に艶があって良い！ピアノの伴奏の音色と美しい歌とのバランスが最高でした。18小節目のクレッシェンド◎。全体的に強弱の表現が良かったです。聴いていてドキドキしました。

## 2-2【カナタハルカ】

・発声良かったので、とてもきれいに聴こえました。拍頭に言葉の初めの文字が来るので、そこをハッキリ歌うのが難しかったのではと感じました。・指揮がうまいですね！ピアノも細やかな音色使いで上手でした。指揮、歌、伴奏の一体感がありました。・歌詞がかなり詰まっているのに、ちゃんと聞き取れるのがスゴイ！曲の終盤の盛り上がりも聴きごたえ◎！

## 2-3【アイノカタチ】

・強弱の付け方やハモリも良く、歌詞一つ一つに気持ちを込めて歌っていることが十分に伝わってきました。どのパートも発声良かったです。・指揮者が音楽を繊細に表現していて感心しました！全体的にレベルの高い合唱でした！・21小節目のブレスの焦りももったいなかったです。しかしどのパートも声が澄んでいて美しかったです！

## 2-4【なんでもないや】

・歌詞をはっきり聴こえて◎！ハモリパートの声が綺麗でした。ソプラノのボリュームが更にあって Good! ・ピアノ上手！指揮も分かりやすく美しい振り方でした。男声の低音の支えが十分に生かされていました。・明るい表情で歌えたら更に良いですね！

## 2-5【RAIN】

・とても良い声ですが、もう少し鼻腔に寄せた発声だともっと聴きやすくなると思います。・和音（縦の響き）がはっきり分かる歌い方が出来ていて聴きやすかったです。きれいに響くハーモニーをたくさん追求したのだろうと思いました。・ソプラノがメロディーを歌う際、他パートは声量をもう少しコントロールできると良いです。アルトは裏声を意識しましょう！

## 2-6【信じる】

・37小節目からのパートで、ちゃんと声色を変えていたのが◎。楽しそうな演奏で好感が持てました。・伸ばす音のハモリがしっかりと決まると尚良いと感じました。・曲の展開が良く伝わってきました（特に1番）。難しい曲ですが、良い合唱を創り上げたいというクラス全体の熱量を感じました。

## 1年生部門

### ～音楽クラスの部～

【金賞】5組「YELL」

【銀賞】2組「空は今」

### ～美術クラスの部～

【金賞】6組「空も飛べるはず」

## 2年生部門

【金賞】3組「アイノカタチ」

【銀賞】2組「カナタハルカ」

7組「プレゼント」

8組「群青」

## 3年生部門

【金賞】2組「HEIWAの鐘」

【銀賞】3組「結」

【銅賞】6組「青春譜」

## 1中杉大賞

【金賞】

3年2組「HEIWAの鐘」

【銀賞】

各学年の賞は芸術科の富澤先生をはじめとした専門家の観点から審査した「芸術科賞」で、「中杉大賞」は生徒の投票によって決められた賞です。

### 2-7【プレゼント】

・男声が出過ぎず、良いバランスを取って歌えていました。指揮者がしっかり表現していて、合唱もそれに応えようとしているのが◎でした！もう少し言葉を大切にするとより◎。・場面ごとの表現の違いをどのパートも理解しながら歌えていたと思います。三声でハモる時、ソプラノがもう少し聴こえると良かったです。

### 2-8【群青】

・ユニゾン部分がとてもきれいで良かったです！安定感のある伴奏が、音楽全体をよく引き締めていたと思います。・曲の最後に向けて、もっともっとはじめても良かったかなと思いました。・指揮者と合唱のコンタクトが◎。盛り上がりの部分の一体感がとても良いと感じました。

### 3-1【ほらね、】

・素敵な演奏でした。とてもハキハキしていて好感が持てました。指揮も、素直でまっすぐな気持ちが溢れていて、曲想に相応しい指揮で良かったです。・強弱の表現が丁寧！また、ソプラノのpが優しくて聴き惚れました。「ほらね、」の表現がとてもきれいな。歌詞を大切に歌っているのが伝わりました。・サビのソプラノの音程は、もう少し高いほうが良かったです。

### 3-2【HEIWAの鐘】

・指揮者の明確な表現のおかげで、単調な曲の作りをカバーして豊かな音楽となっていました!! 素晴らしかったです！元気な声、明るい表情が◎！楽譜に強弱の指示が少ない中での表現が素晴らしいです。・女声のハモりがとてもきれいでした！歌詞が自然な形で耳に入ってきて、聴いてとても心地良かったです。

### 3-3【結】

・バランスの良い爽やかな合唱に仕上がっていました。ピアノも素晴らしく、細やかな表現が歌の美しさを際立たせていると感じました。・音色はまともでしたが、pがやや弱々しい感じに聴こえたので、男声はもう少し出しても良かったかもしれません。・サビの団結感やハモりが良かったです！ 全体的に強弱差がもう少しあっても良かったかなと思います。

### 3-4【あなたへ】

・とても上手なのですが、曲が単調なので、なかなか表現力をアピール出来ずに終わってしまうのが惜しかった気がします！・エネルギーを感じる演奏でした。女声の声色にもう少し豊かさが欲しいです。・このクラスもサビの団結感がすごかったです。男声がとても良い声で上手かったのですが、もう少し声量をコントロールできるとバランスが良かったと思います。

### 3-5【旅立ちの時】

・この歌は割と流れていってしまいがちな曲調なので、ヴォカリーズのフレージングや最後の盛り上げ方をもう一工夫してみると、更に良くなったと思います。・柔らかい音色が曲に合っていました。ハーモニーが美しい曲なので、それをより生かす歌い方が出来ると Good です。・アルトとベースの音色が良かったです。ソプラノにもう少し安定感があると、もう少しきれいにハモれたと思います。

### 3-6【青春譜】

・指揮も合唱もすごく良かったです！こんなに難しい曲をきちんと形にできて感動しました。発声が悪ければ完璧だと思いました。難しい伴奏もよく弾けていたと思います。・冒頭の男声から、声量、表現共に◎。25小節のクレッシェンドで引き込まれました。ffの表現をもっと丁寧に出来るとより◎！・難曲でしたが、それに必死に立ち向かい表現しようとする姿勢をひしひしと感じました。特に男声がよく頑張っていたと思います！

### 3-7【証】

・全体的にキレイの良い表現でした。3年生らしい一体感のある演奏で、各パートのバランスもよく考えられていました。・ハーモニーの厚みと安定感に魅了されました。強弱の付け方をもう少し意識し、指揮もそれに合わせて振り方を工夫すると良かったと感じました。・アルトの音色がとても良かったです!! 男声が女声の音色に溶け込んでいると、なお良かったです。

### 3-8【サザンカ】

・男声の高音のpの部分が、大変きれいに歌えていました。男声を後列にすることでバランスを取っているのが、とても良かった。指揮が上手ですが、ピアノの間奏の時はもう少し小さく振ると良いです。・男声が揃っていて◎！ソプラノはもう少し力を抜いたほうが、バランスが良さそうでした。・男声の音色に優しさがあったのが、とても良かったです。女声は、伸ばす音の音程を丁寧に取らしましょう。

### 3-9【虹】

・信長さんのアレンジは素敵なのですが、その素敵さに負けないような細やかな表現ができると更に良かったです。歌詞がくっきりとクリアに聴こえてきて◎でした。伴奏もきれいに弾けていました。・男声も女声も優しさのある豊かな歌声がステキでした。強弱の表現にもっと注力していいと感じました。・テナーがとても良い声でした。サビのまともにもとても良かったです。ソロの方々もよく頑張りました！



事務室・図書室・保健室から



**事務室**・・・春休み中の取扱時間は平日 9:00～17:00(昼休み:12:00～13:00)、土曜日 9:00～12:00 です。

**図書室**・・・春休み中の利用可能時間は平日の 9:00～17:00 です。春休み中の土曜日は、3月29日(9:00～12:00)を除き、全て閉室です。**未返却本は、必ず返却を！**

**保健室**・・・春休み中の開室時間は平日(9:00～17:00)と土曜日(9:00～12:00)です。気になることがあれば、どうぞお電話を下さい。



## 3学期活動報告

本校 HP「TOPICS」や学年ブログ(60・61・62期)でも詳細な報告を行っています。どうぞご覧ください。

### 【学校行事】

2学年研修旅行(1月8～11日(マレーシアは12日)):沖縄、奄美、東北、韓国、マレーシアの5コースに分かれ実地研修を行いました。

1学年フィールドワーク(1月9日):「探究」の授業で学んできたSDGsが、社会でどのように実践されているか各地で確認しました。

3学年謎解きゲーム(1月9日):チームビルディングの一環として『燃え盛る本能寺からの脱出』というゲームを全員で楽しみました。

3学年卒論・理数探究発表会(1月10、11日):3年間の探究学習の成果である卒論・理数探究の発表を行いました。

附属4校合同スピーチコンテスト(1月11日):1年生が発音アピール部門で受賞しました。今回は最後の開催となりました。

3学年中大入学前教育(2月1日～):中央大学に進学が内定した3年生が、大学のゼミ体験やレポート作成に取り組みました。

3学年オックスフォード研修(2月12日～3月3日):3年生有志がオックスフォードでホームステイをしながら研鑽を積みました。

PBL研究発表会(2月19日[1年生]、26日[2年生]):3年生の優秀卒業論文と理数探究の成果が下級生の前で披露されました。

3学年卒業記念芸術鑑賞教室(3月6日):3年生全員が、舞浜アンフィシアターで上演中の「美女と野獣」を鑑賞しました。

### 【クラブ活動】

音楽部:第2回 全国高等学校軽音楽部 オリジナルソング・グランプリにて、1&2年生混成バンド〈nēolull (ネオラル)〉がバンド部門において上位2組に贈られる「優秀賞」を受賞しました。

## 飯田裕子先生ご退職

本年度をもちまして飯田裕子先生(外国語科)がご退職されます。飯田先生からみなさんへのメッセージをいただきました。

退職にあたり、これまで関わってくれた生徒のみなさん、そして職場を共にしてきた教職員の方々に深くお礼申し上げます。

私はいくつか職を転々とした後、2001年に中杉で初めて専任教員として働き始めました。たいへんなこともありましたが、心優しい生徒たち、そして頼もしい同僚に支えられ、24年間なんとかここまで続けることができました。中杉に勤めていなければ、このように穏やかに退職の日を迎えることはできなかったと思います。

私は、人生は花束のようなものだと思います。色々な人と出会うことで、私の人生の花束はどんどん大きく豪華になっていきます。中杉では、本当にたくさんの生徒の皆さんとの出会いがありました。その一人ひとりが、私の人生に色とりどりの花を添え、豊かにしてくれました。

私はこの3月で24年間勤めてきた中杉を「卒業」します。日本語の「卒業」は終わることを意味しますが、英語には卒業を意味する語が2つあり、1つは graduation、もう1つは commencement という言葉です。これは、「終わる」ことではなく、「始まり」を意味する言葉です。「卒業」が、終わることではなく、次のステージへの「始まり」であることに重きが置かれているのです。

私にとって、中杉「卒業」は commencement となります。4月から、思うところがあり、約40年ぶりに大学に入り直し、心理学を学ぶことにしました。新しいステージの始まりです。

生徒の皆さんとの出会い、そして共に歩んでくださった教職員の皆様への感謝を胸に、新たな挑戦を通じて、人生をより豊かなものにしていきたいと考えています。

最後に、中央大学杉並高等学校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げて、退職のご挨拶とさせていただきます。中杉の一員として24年間働かせていただき、本当にありがとうございました。I deeply appreciate having been a part of Chusugi for 24 years.

62期学年主任、地歴科教諭の重枝一弘先生が、去る2月10日に満62歳で御逝去され

ました。重枝先生は中杉の卒業生でもあり、1981年に本校を

卒業されたのち中央大学、および同大大学院に進まれました。1987年より兼任講師として、2006年からは専任教諭として、本校の教育に長く尽力されました。本校では3月13日(木)から17日(月)までの日曜日を除く4日間、多目的教室3に献花台を設け、重枝先生の遺徳を偲びました。謹んで重枝先生のご冥福をお祈り申し上げます。

## 重枝一弘先生ご逝去



# 卒業生進路(60期生)

| 2024年度進学・中央大学学部別推薦者数 |                |                 |      |
|----------------------|----------------|-----------------|------|
| 学部                   | 学科・専攻・コース      |                 | 決定人数 |
| 法学部                  | 法律学科           |                 | 53   |
|                      | 国際企業関係法学科      |                 | 10   |
|                      | 政治学科           |                 | 23   |
| 経済学部                 | 経済学科           |                 | 24   |
|                      | 経済情報システム学科     |                 | 9    |
|                      | 国際経済学科         |                 | 8    |
|                      | 公共・環境経済学科      |                 | 9    |
| 商学部                  | 経営学科           | フレックス・コース       | 10   |
|                      |                | フレックス Plus1・コース | 6    |
|                      | 会計学科           | フレックス・コース       | 10   |
|                      |                | フレックス Plus1・コース | 6    |
|                      | 国際マーケティング学科    | フレックス・コース       | 10   |
|                      |                | フレックス Plus1・コース | 7    |
|                      | 金融学科           | フレックス・コース       | 5    |
|                      |                | フレックス Plus1・コース | 2    |
| 理工学部                 | 数学科            |                 | 0    |
|                      | 物理学科           |                 | 1    |
|                      | 都市環境学科         |                 | 4    |
|                      | 精密機械工学科        |                 | 5    |
|                      | 電気電子情報通信工学科    |                 | 6    |
|                      | 応用化学科          |                 | 6    |
|                      | ビジネスデータサイエンス学科 |                 | 5    |
|                      | 情報工学科          |                 | 4    |
|                      | 生命科学科          |                 | 4    |
|                      | 人間総合理工学科       |                 | 5    |
| 文学部                  | 人文社会学科         | 国文学専攻           | 3    |
|                      |                | 英語文学文化専攻        | 1    |
|                      |                | ドイツ語文学文化専攻      | 0    |
|                      |                | フランス語文学文化専攻     | 2    |
|                      |                | 中国言語文化専攻        | 0    |
|                      |                | 日本史学専攻          | 2    |
|                      |                | 東洋史学専攻          | 1    |
|                      |                | 西洋史学専攻          | 1    |
|                      |                | 哲学専攻            | 1    |
|                      |                | 社会学専攻           | 2    |
|                      |                | 社会情報学専攻         | 2    |
|                      |                | 教育学専攻           | 2    |
|                      |                | 心理学専攻           | 3    |
| 学びのパスポートプログラム        | 1              |                 |      |
| 総合政策学部               | 政策科学科          |                 | 10   |
|                      | 国際政策文化学科       |                 | 10   |
| 国際経営学部               | 国際経営学科         |                 | 7    |
| 国際情報学部               | 国際情報学科         |                 | 8    |

## 【国公立大学】

| 大学     | 学部         | 現役 | 過年度 |
|--------|------------|----|-----|
| 横浜国立大学 | 経営学部       | 1  |     |
| 信州大学   | 教育学部       | 1  |     |
| 金沢大学   | 医薬保健学域 医学類 |    | 1   |

## 【私立大学】

|         |               |                |   |
|---------|---------------|----------------|---|
| 慶応義塾大学  | 総合政策学部        | 1              |   |
|         | 文学部           | 1              |   |
|         | 法学部           | 1              |   |
| 国際基督教大学 | 教養学部          | 1              |   |
| 上智大学    | 外国語学部         | 1              |   |
|         | 神学部           | 1              |   |
|         | 総合グローバル学部     | 1              |   |
|         | 理工学部          | 2              |   |
|         | 東京理科大学        | 経営学部           | 1 |
|         |               | 薬学部            | 1 |
|         |               | 先進工学部          | 1 |
|         |               | 創域理工学部         | 1 |
|         | 立教大学          | 現代心理学部         | 1 |
|         |               | 異文化コミュニケーション学部 | 1 |
|         | 中央大学          | 法学部            | 2 |
|         | 早稲田大学         | 政治経済学部         | 1 |
| 東京都市大学  | 建築都市デザイン学部    | 1              |   |
| 順天堂大学   | 薬学部           | 1              |   |
| 星薬科大学   | 薬学部           | 1              |   |
| 帝京大学    | 医療技術学部        | 1              |   |
| 明治大学    | 情報コミュニケーション学部 | 1              |   |
|         | 総合数理学部        | 1              |   |

## 【海外の大学】

|                             |   |   |  |
|-----------------------------|---|---|--|
| EU Business School          | Bachelor of Business Administration & BA(Hons) in Business Management             | 1 |  |
| IBS Budapest                | Business Administration and Management  | 1 |  |
| GBSB Global Business School | Bachelor of Business Administration and Digital Innovation with Finance & Fintech | 1 |  |
| Pecs University             | Preparatory Courses in English for Degree Studies                                 | 1 |  |

2025年3月18日現在

\*60期生の91.4%(288名)が中央大学へ推薦されました

- 9 -

今年度もご愛読いただき、ありがとうございました！(鈴木・佐藤)